

PCT

世界知的所有権機関  
国際事務局

特許協力条約に基づいて公開された国際出願



(51) 国際特許分類6 G11B 20/10, H04N 5/92	A1	(11) 国際公開番号 WO98/50919  (43) 国際公開日 1998年11月12日(12.11.98)
(21) 国際出願番号 PCT/JP98/01941  (22) 国際出願日 1998年4月27日(27.04.98)  (30) 優先権データ 特願平9/116685 1997年5月7日(07.05.97) JP  (71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 三洋電機株式会社(SANYO ELECTRIC CO., LTD.)(JP/JP) 〒570-0083 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 Osaka, (JP) (72) 発明者 ; および (75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ) 森川成和(MORIKAWA, Shigekazu)(JP/JP) 〒573-0163 大阪府枚方市長尾元町3-11-21 Osaka, (JP) (74) 代理人 弁理士 安富耕二, 外(YASUTOMI, Koji et al.) 〒370-0532 群馬県邑楽郡大泉町坂田一丁目1番1号 三洋電機株式会社 情報通信事業本部内 Gunma, (JP)		(81) 指定国 CN, ID, KR, US, 欧州特許 (DE, FR, GB).  添付公開書類 国際調査報告書
(54)Title: METHOD AND DEVICE FOR RECORDING AND REPRODUCING DIGITAL SIGNAL  (54)発明の名称 デジタル信号の記録再生方法及び装置  (57) Abstract While a magnetic tape (10) is transported, the signal surface of the magnetic tape (10) is scanned to record time-compressed digital signals on the magnetic tape (10) or to reproduce time-compressed digital signals reproduced on the magnetic tape (10). The time-compressed digital video signals which are recorded are reproduced accurately by time-expanding them with a simple construction. A control circuit (7) controls the transport of the magnetic tape (10) while writing the compressed digital signals reproduced from the magnetic tape (10) into a memory (9). When the signals are written in the memory (9) to the extent of its limit capacity, the magnetic tape (10) is transported in the reverse direction by a certain distance, and then the tape (10) is temporarily stopped. By reading the compressed digital signals to produce a predetermined free capacity, the transport of the magnetic tape (10) is resumed. This process is repeated.   1 ... digital signal recording/reproducing device 2 ... receiver 3 ... image receiver 5 ... VTR mechanism 6 ... head amplifier 7 ... control circuit 8 ... input key 9 ... memory 11 ... expansion demodulation circuit 12 ... receiving circuit		

(57)要約

磁気テープ10を走行させつつ該磁気テープ10の信号面を走査して、時間圧縮されたデジタル信号を磁気テープ10に記録し、或いは該磁気テープ10から時間圧縮されたデジタル信号を再生する方法及び装置において、時間圧縮されて記録されているデジタル映像信号を、簡易な構成によって時間伸長し、正確に再生する。

制御回路7は、磁気テープ10から再生される圧縮デジタル信号をメモリ9に書き込みつつ、磁気テープ10の走行を制御して、メモリ9が所定の限界容量まで書き込まれたとき、磁気テープ10を一定量だけ逆方向に走行させた後に一時停止させ、圧縮デジタル信号の読出しによってメモリ9に所定の空き容量が生じた時点で、磁気テープ10の走行を再開する動作を繰り返す。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AL	アルバニア	FI	フィンランド	LR	リベリア	SK	スロヴァキア
AM	アルメニア	FR	フランス	LS	レソト	SL	シエラ・レオネ
AT	オーストリア	GA	ガボン	LT	リトアニア	SN	セネガル
AU	オーストラリア	GB	英国	LU	ルクセンブルグ	SZ	スワジランド
AZ	アゼルバイジャン	GD	グレナダ	LV	ラトヴィア	TD	チャード
BA	ボスニア・ヘルツェゴビナ	GE	グルジア	MC	モナコ	TG	トーゴ
BB	バルバドス	GH	ガーナ	MD	モルドヴァ	TJ	タジキスタン
BE	ベルギー	GM	ガンビア	MC	マダガスカル	TM	トルクメニスタン
BF	ブルキナ・ファソ	GN	ギニア	MK	マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TR	トルコ
BG	ブルガリア	GW	ギニア・ビサウ		共和国	TT	トリニダード・トバゴ
BJ	ベナン	GR	ギリシャ	ML	マリ	UA	ウクライナ
BR	ブラジル	HR	クロアチア	MN	モンゴル	UG	ウガンダ
BY	ベラルーシ	HU	ハンガリー	MR	モーリタニア	US	米国
CA	カナダ	ID	インドネシア	MW	マラウイ	UZ	ウズベキスタン
CF	中央アフリカ	IE	アイルランド	MX	メキシコ	VN	ヴェトナム
CG	コンゴ	IL	イスラエル	NE	ニジェール	YU	ユーゴスラビア
CH	スイス	IS	アイスランド	NL	オランダ	ZW	ジンバブエ
CI	コートジボアール	IT	イタリア	NO	ノルウェー		
CM	カメルーン	JP	日本	NZ	ニュージーランド		
CN	中国	KE	ケニア	PL	ポーランド		
CU	キューバ	KG	キルギスタン	PT	ポルトガル		
CY	キプロス	KP	北朝鮮	RO	ルーマニア		
CZ	チェコ	KR	韓国	RU	ロシア		
DE	ドイツ	KZ	カザフスタン	SD	スーダン		
DK	デンマーク	LC	セントルシア	SE	スウェーデン		
EE	エストニア	LI	リヒテンシュタイン	SG	シンガポール		
ES	スペイン	LK	スリ・ランカ	SI	スロヴェニア		

## 明 細 書

### デジタル信号の記録再生方法及び装置

#### 技術分野

本発明は、デジタルビデオテープレコーダの如くテープ状記録媒体を長手方向に走行させつつ該記録媒体の信号面を走査して、時間圧縮されたデジタル信号を記録媒体に記録し、或いは該記録媒体から時間圧縮されたデジタル信号を再生する方法及び装置に関するものである。

#### 背景技術

近年の衛星放送、ケーブルTV、インターネット等のデジタル情報伝送技術の発達に伴って、デジタル映像信号等のマルチメディア情報をカセットテープ等の媒体を介することなく、直接に各家庭へ配信するサービスが実現可能となっている。

この様なサービスにおいては、例えば各家庭に配信すべきデジタル映像信号を時間圧縮して伝送することが行なわれ、各家庭では、受信したデジタル映像信号を時間圧縮されたビットストリームのまま、ヘリカルスキャン方式のデジタルビデオテープレコーダによってカセットテープにアジマス記録することが可能である。そして、信号再生時には、カセットテープを再生して、これによって得られる圧縮デジタル映像信号に時間伸長、復調、D/A変換等を施して、アナログ映像信号を生成し、これをTV受像機へ供給して、映像を復元する。

尚、デジタル映像信号の時間圧縮には、例えばフラクタル圧縮方式(日経バイト1997年3月号第321頁～325頁参照)が採用可能であって、これによって2時

間程度の映像を約5分間に時間圧縮してカセットテープに記録することが可能である。

時間圧縮されているデジタル映像信号を時間伸長して再生する方法としては、次に挙げる2つの方法が考えられる。

即ち、

1. 圧縮率に応じて、再生時のテープ走行速度を一様に低下させる。
2. テープを1フレーム分(例えば1トラック分)だけ信号記録時と同一速度で走行させた後、一時停止させる間欠送り動作を繰り返して、再生時のテープ走行速度を平均値として低下させる。

しかしながら、上記1の方法においては、テープ走行速度の低下によって磁気ヘッドのトレース角度が信号記録時と相違することとなるため、再生時のテープ走行速度に応じてヘッドトレース角度を変化させねばならず、このためには、複雑なメカニズムが必要となる問題がある。

又、上記2の方法においては、テープの走行、一時停止を極めて短いピッチで頻繁に行なわねばならず、一時停止後の走行開始直後の一定期間は、テープの走行速度が安定しないため、テープからの信号再生が正確に行なわれない虞れがある。

そこで本発明の第1の目的は、時間圧縮されているデジタル映像信号を簡易な構成により時間伸長して再生することが可能なデジタル信号の記録再生方法及び装置を提供することである。

又、本発明の第2の目的は、時間圧縮されているデジタル映像信号を時間伸長して再生する際、正確な信号再生が可能なデジタル信号の記録再生方法及び装置を提供することである。

発明の開示

本発明に係るデジタル信号記録再生方法及び装置は、テープ状記録媒体を長手方向に走行させつつ該記録媒体の信号面を走査して、時間圧縮されたデジタル信号を記録媒体に記録し、或いは該記録媒体から時間圧縮されたデジタル信号を再生するものであって、記録媒体から再生される圧縮デジタル信号をメモリに書き込みつつ、記録媒体の走行を制御して、メモリが所定の限界容量まで書き込まれたとき、記録媒体の走行を一時停止させ、圧縮デジタル信号の読出しによってメモリに所定の空き容量が生じた時点で、記録媒体の走行を再開する動作を繰り返す。

具体的には、信号再生時に、信号記録時と同一速度で記録媒体を走行させる。又、デジタル信号が映像信号の場合、メモリは少なくとも数フレーム分の映像信号を記憶することが可能な容量を有している。

上記本発明の記録再生方法及び装置においては、信号記録モードの設定、実行によって、記録媒体に時間圧縮されたデジタル信号が書き込まれている。そして、信号再生モードが設定されたとき、記録媒体の走行、走査による信号再生が開始されると共に、これによって得られる圧縮デジタル信号のメモリに対する書込みが開始される。又、後段回路からメモリに対して信号読出し要求が発せられたときは、メモリから圧縮デジタル信号が読み出され、該信号は後段回路へ供給されて時間伸長等の必要な処理が施され、例えば映像表示が開始される。ここで、メモリからの信号の読出しは、信号の書込み速度よりも低速で行なわれるため、メモリの信号書込み済み領域は徐々に拡大することになる。

その後、メモリが所定の限界容量まで書き込まれたとき、記録媒体の走行を一時停止させる。これによって、メモリからの圧縮デジタル信号の読出しのみが続行されることとなって、メモリの空き容量は徐々に増大する。そして、メモリに所定の空き容量が発生した時点で、記録媒体の走行と、メモリに対する圧縮デジタル信号の書込

みが再開される。

以上の動作を繰り返すことによって、記録媒体に時間圧縮されて記録されているデジタル信号が、圧縮率に応じた頻度で後段回路へ順次出力され、時間伸長が施されることになる。

上記本発明の記録再生方法及び装置の具体的構成において、メモリが所定の限界容量まで書き込まれたとき、記録媒体を一定量だけ逆方向に走行させた後、一時停止させる。

これによって、信号再生時の走査には、走行方向の転換の度に、記録媒体上で一定量のオーバーラップが与えられることになる。

該具体的構成においては、記録媒体の一時停止後、順方向の走行が開始された直後には、記録媒体の走行速度が不安定であったとしても、その前のステップで順方向の走行が停止された位置まで走行が進むまでに、即ちオーバーラップ区間内で速度は安定するので、オーバーラップ区間の再生終了後、これに続く新たな再生区間では、安定した走行速度による信号再生が行なわれる。

#### 図面の簡単な説明

第1図は、本発明に係るデジタル信号記録再生装置及び受信装置の構成を表わすブロック図、第2図は該デジタル信号記録再生装置の信号再生における制御手続きを表わすフローチャート、第3図は該信号再生動作を説明するタイムチャートである。

#### 発明を実施するための最良の形態

以下、本発明をデジタル映像信号の配信システムに実施した形態につき、図面に沿って具体的に説明する。

本発明に係るデジタル映像信号配信システムは、第1図に示す如くデジタル信号記録再生装置(1)と受信装置(2)から構成され、受信装置(2)にはディスプレイを具えた受像機(3)が接続されている。

配信局から配信されて、受信装置(2)により受信された圧縮デジタル映像信号は、デジタル信号記録再生装置(1)へ送られて、磁気テープ(10)に記録される。その後、磁気テープ(10)から再生された圧縮デジタル映像信号は、受信装置(2)へ供給されて、時間伸長等の必要な処理が施された後、受像機(3)へ出力され、映像表示が行なわれる。

デジタル信号記録再生装置(1)は、従来のヘリカルスキャン方式のデジタルVTRと同一構成を有して、磁気テープ(10)の走行駆動、磁気ヘッド(4)の回転駆動等を行なう周知のVTRメカニズム(5)と、磁気ヘッド(4)による記録信号及び再生信号を増幅するヘッドアンプ(6)と、VTRメカニズム(5)の制御を行なう制御回路(7)と、制御回路(7)に対して各種の指令を与えるための入力キー(8)と、複数フレーム分の記憶容量を有して後述の如く信号再生処理に用いられるメモリ(9)とを具えている。

ここで、制御回路(7)とメモリ(9)が、本発明の特徴的構成を為すものであり、その動作については後述する。

一方、受信装置(2)は、フラクタル圧縮方式等によって時間圧縮されたデジタル映像信号の配信を受けたために構成されたものであって、例えば衛星放送波を利用して送信されてくる圧縮デジタル信号を受信して、デジタル信号記録再生装置(1)へ供給する受信回路(12)と、デジタル信号記録再生装置(1)のメモリ(9)に対して信号読出し指令Rを発すると共に該指令に応じて読み出されるデジタル映像信号Dに時間伸長、復調処理、D/A変換等の必要な処理を施す伸長・復調回路(11)とを具えており、伸

長・復調回路(11)から出力されるアナログ映像信号が受像機(3)へ出力される。

上記デジタル映像信号配信システムにおいては、入力キー(8)の操作によって信号記録モードが設定されると、VTRメカニズム(5)が動作して、磁気テープ(10)が一定速度で走行駆動されると共に、磁気ヘッド(4)が回転駆動される。又、受信装置(2)により受信された圧縮デジタル映像信号が、デジタル信号記録再生装置(1)のヘッドアンプ(6)を経て磁気ヘッド(4)へ供給され、磁気テープ(10)の走行と磁気ヘッド(4)の回転によるヘリカルスキャンによって、磁気テープ(10)の信号面にアジマス記録される。ここで、圧縮デジタル映像信号は、実時間軸上で約2時間分を約5分間の信号に時間圧縮することが可能であり、この場合、該信号は約5分間分に相当するテープ長さに亘って記録されることになる。

その後、入力キー(8)の操作によって信号再生モードが設定されると、VTRメカニズム(5)が動作して、磁気テープ(10)が信号記録時と同一速度で走行駆動されると共に、磁気ヘッド(4)が信号記録時と同一速度で回転駆動される。これによって、磁気ヘッド(4)から得られる圧縮デジタル映像信号はヘッドアンプ(6)を経てメモリ(9)に書き込まれる。この際、磁気テープ(10)の走行と、メモリ(9)に対する圧縮デジタル映像信号の書込みは、制御回路(7)によって後述の如く制御される。

メモリ(9)に書き込まれた圧縮デジタル映像信号は、受信装置(2)の伸長・復調回路(11)から入力される信号読出し指令Rに応じて順次読み出され、伸長・復調回路(11)へ供給される。

第2図は、上記デジタル信号記録再生装置(1)の制御回路(7)が実行する信号再生モードにおける制御手続きを表わしている。

先ずステップS1にて信号再生モードを設定すべき指令が入力されたか否かを判断し、イエスのときは、ステップS2にて信号再生モードを設定する。次にステップ



S 3にてメモリが所定の限界容量まで書き込まれた“メモリフル”の状態であるか否かを判断する。ここで、ノーと判断されたときは、信号再生を続行する。又、この過程で、受信装置(2)から信号読出し指令が入力されたときは、メモリに書き込まれている圧縮デジタル映像信号が読み出される。

尚、メモリからのデジタル映像信号の読出しは、該デジタル映像信号の圧縮率に応じた低い頻度で行なわれるため、メモリへのデジタル映像信号の書込みの方が速く進んで、メモリ(9)の書込み済み領域は徐々に拡大することになる。

その後、ステップS 3にてイエスと判断されたときは、ステップS 4に移行し、複数フレーム分の巻戻し再生を実行した後、ステップS 5にて一時停止させる。これによって磁気テープは一定量だけ巻き戻されることになる。

尚、巻戻し再生によって得られる映像信号はテープの巻戻し制御にのみ供され、メモリに対する書込みや映像表示に用いられることはない。従って、メモリからのデジタル映像信号の読出しのみが行なわれることとなって、メモリの書込み可能領域が徐々に拡大することになる。

続いてステップS 6では、メモリに所定の空き容量が生じた“メモリエンプティ”の状態となったか否かを判断し、ノーのときは一時停止状態を保持する。その後、ステップS 6にてイエスと判断されたときはステップS 2に戻って、再生モードを設定し、メモリに対する圧縮デジタル映像信号の書込みを続行する。

上述の制御手続きによれば、メモリがフルとなる度にテープが一定量だけ巻き戻されて、巻き戻し位置から再び順方向の再生が開始されるので、信号再生には、走行方向の転換の度に、テープ上で一定量のオーバーラップが与えられることになる。

このオーバーラップ区間では、テープが走行を開始した直後であるため、走行速度が不安定であって、信号再生に誤りが発生する虞れがあるが、オーバーラップ区間

が終了するまでに速度は安定するので、オーバーラップ区間に続く新たな再生区間では、安定した走行速度による信号再生が行なわれる。

従って、オーバーラップ区間の2回の走査によって得られるデジタル映像信号の内、1回目の走査で得られる信号を採用して、2回目の走査で得られる信号は無効とすることによって、誤りのない正確な再生信号が得られる。

第3図は、上記制御手続きの実行によって、テープに時間圧縮されて記録されているデジタル映像信号が時間伸長されて再生される様子を表わしている。

同図(a)に示す如く開始時刻  $t_1 = 0$ 、終了時刻  $t_2 = T$  の圧縮前の現映像信号は、所定の圧縮率で時間圧縮されて、同図(b)の如く磁気テープ上の領域  $p_1 \sim p_2$  に記録されている。

第3図(c)の如く、上述の走行制御によって、先ずステップ①ではテープを順方向に走行させつつ、同図(d)の如くメモリへ映像信号を順次書き込む。これによってテープ上の最初の記録領域Aの映像信号D1がメモリに書き込まれて、メモリフルの状態になると、ステップ②にてテープを一定量だけ巻き戻し、一時停止させる。その後、メモリエンプティの状態になると、ステップ③にて再びテープを順方向に走行させつつ、メモリへ映像信号を順次書き込む。これによってテープ上の次の記録領域Bの映像信号D2がメモリに書き込まれて、メモリフルの状態になると、ステップ④にてテープを一定量だけ巻き戻し、一時停止させる。その後、メモリエンプティの状態になると、ステップ⑤にて再びテープを順方向に走行させつつ、メモリへ映像信号を順次書き込む。これによってテープ上の最後の記録領域Cの映像信号D3がメモリに書き込まれることになる。

この様にして、テープ上の各記録領域A、B、Cに記録されている一連のデジタル映像信号が、一旦メモリに書き込まれた後、圧縮率に応じた頻度で読み出されて、

圧縮率に応じた時間伸長が施され、第3図(e)の如く開始時刻  $t_1 = 0$ 、終了時刻  $t_2 = T$  の再生信号が得られることになる。

上述の如く本発明に係るデジタル映像信号配信システムによれば、デジタル信号記録再生装置(1)は、信号再生モードにて信号記録モードと同一のテープ走行速度を設定すればよいから、トレース角度を一致させるための特別な機構は不要であり、従来と全く同一構成のVTRメカニズムを採用することが出来る。

又、メモリは複数フレーム分の記憶容量を有しているから、信号再生時のテープの一時停止の頻度は低く、然も、テープの一時停止の際にテープを一定量だけ巻き戻して、オーバーラップ区間を設けることによって、信号再生時の誤りを回避しているので、高品位の再生映像を得ることが出来る。

尚、本発明の各部構成は上記実施の形態に限らず、特許請求の範囲に記載の技術的範囲内で種々の変形が可能である。例えば、記録及び再生の対象は映像信号に限らず、オーディオ信号やその他のデータ信号であってもよいのは言うまでもない。

#### 産業上の利用可能性

本発明に係るデジタル信号の記録再生方法及び装置によれば、例えば従来のビデオテープレコーダと同一の動作、即ち、順方向のテープ送りによる再生、逆方向のテープ送り、及びその後の一時停止によって、信号再生及び時間伸長が行なわれるので、時間圧縮されているデジタル映像信号の再生に特別なメカニズムは不要であり、構成は簡易である。

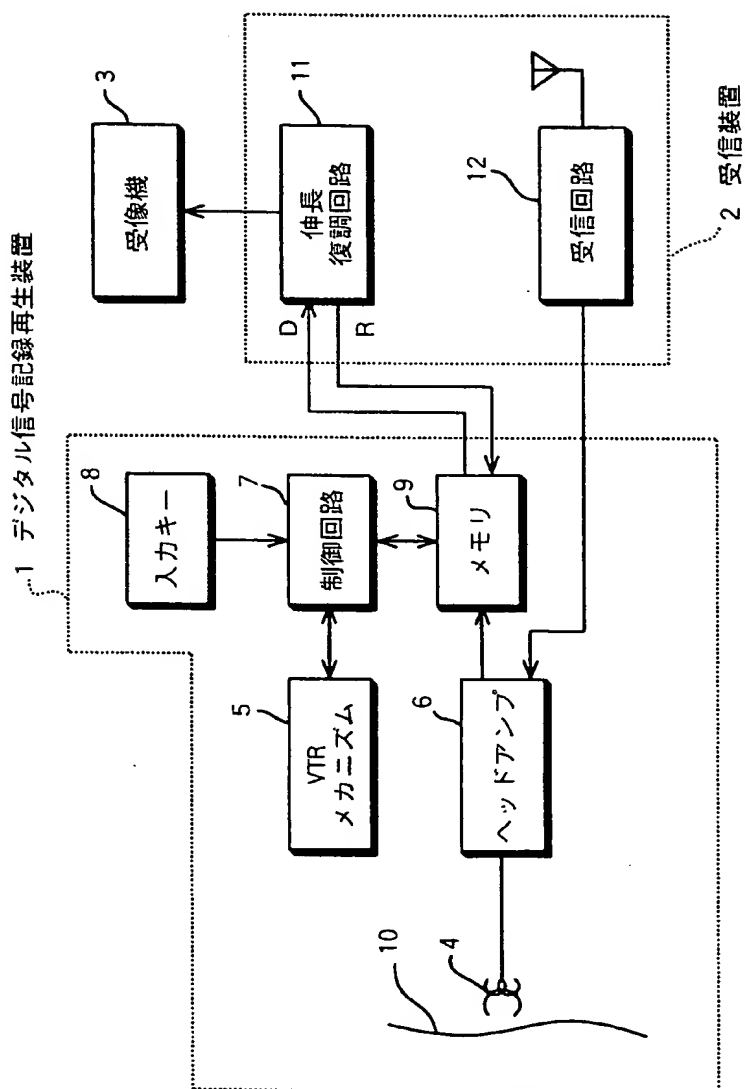
又、記録媒体の走査にオーバーラップを与える具体的構成によれば、時間圧縮されているデジタル映像信号の再生において、安定した走行速度による信号再生が行なわれるので、これによって得られる再生信号は誤りのない正確なものとなる。

## 請 求 の 範 囲

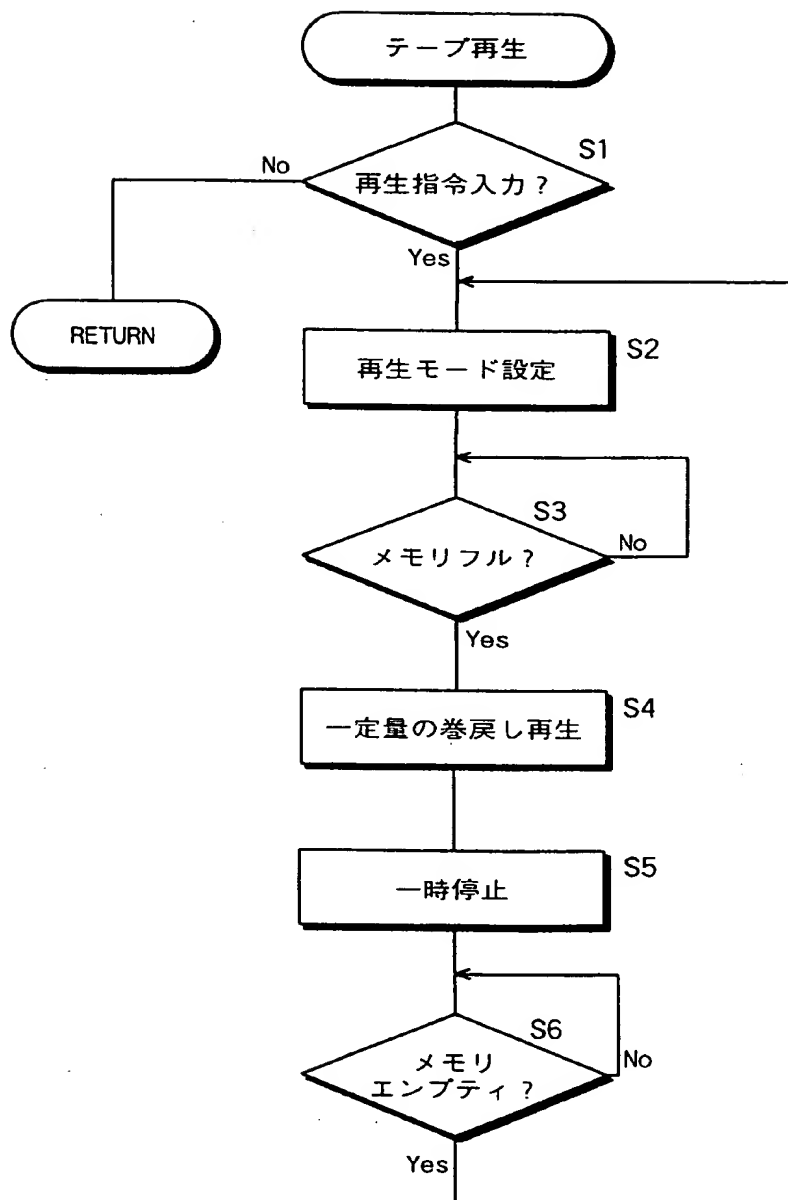
1. テープ状記録媒体を長手方向に走行させつつ該記録媒体の信号面を走査して、時間圧縮されたデジタル信号を記録媒体に記録し、或いは該記録媒体から時間圧縮されたデジタル信号を再生するデジタル信号の記録再生方法であって、記録媒体から再生される圧縮デジタル信号をメモリに書き込みつつ、記録媒体の走行を制御して、メモリが所定の限界容量まで書き込まれたとき、記録媒体の走行を一時停止させ、圧縮デジタル信号の読出しによってメモリに所定の空き容量が生じた時点で、記録媒体の走行を再開する動作を繰り返すことを特徴とするデジタル信号記録再生方法。
2. メモリが所定の限界容量まで書き込まれたとき、記録媒体を一定量だけ逆方向に走行させた後、一時停止させる請求の範囲 1 に記載のデジタル信号記録再生方法。
3. 信号再生時には、信号記録時と同一速度で記録媒体を走行させる請求の範囲 1 又は請求の範囲 2 に記載のデジタル信号記録再生方法。
4. テープ状記録媒体を長手方向に走行させつつ該記録媒体の信号面を走査するテープ走行・走査系と、時間圧縮されたデジタル信号を記録媒体に記録する信号記録系と、該記録媒体から時間圧縮されたデジタル信号を再生する信号再生系と、記録媒体から再生される圧縮デジタル信号を格納すべきメモリと、記録媒体の走行及びメモリに対する信号書込みを制御する制御系とを具えたデジタル信号記録再生装置であって、制御系は、記録媒体の信号面から再生される圧縮デジタル信号をメモリに書き込みつつ、記録媒体の走行を制御して、メモリが所定の限界容量まで書き込まれたとき、記録媒体の走行を一時停止させ、圧縮デジタル信号の読出しによってメモリに所定の空き容量が生じた時点で、記録媒体の走行を再開する動作を繰り返すことを特徴とするデジタル信号記録再生装置。

5. 制御系は、メモリが所定の限界容量まで書き込まれたとき、記録媒体を一定量だけ逆方向に走行させた後、一時停止させる請求の範囲 4 に記載のデジタル信号記録再生装置。

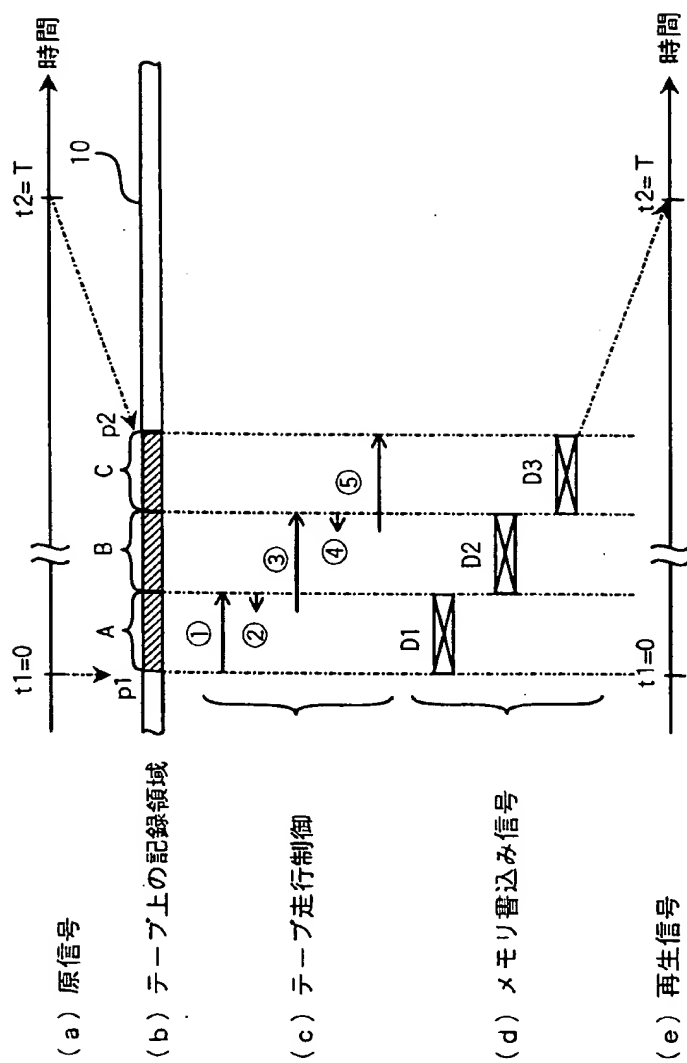
6. 制御系は、信号再生時に、信号記録時と同一速度で記録媒体を走行させる請求の範囲 4 又は請求の範囲 5 に記載のデジタル信号記録再生装置。



第 2 図



第3図





## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP98/01941

<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b> Int.Cl <sup>6</sup> G11B20/10, H04N5/92		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b> Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) Int.Cl <sup>6</sup> G11B20/10, H04N5/92		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Jitsuyo Shinan Koho 1940-1998 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-1998 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-1998 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-1998		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP, 6-165125, A (Victor Co. of Japan, Ltd.), June 10, 1994 (10. 06. 94)	1, 3
Y	& EP, 595268, A2	2, 4-6
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search June 8, 1998 (08. 06. 98)		Date of mailing of the international search report June 16, 1998 (16. 06. 98)
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office		Authorized officer
Facsimile No.		Telephone No.

## 国際調査報告

国際出願番号 PCT/J P 98/01941

## A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>8</sup> G11B20/10, H04N5/92

## B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl<sup>8</sup> G11B20/10, H04N5/92

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案広報 1940-1998年  
 日本国公開実用新案広報 1971-1998年  
 日本国実用新案登録広報 1996-1998年  
 日本国登録実用新案広報 1994-1998年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

## C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP, 6-165125, A (日本ビクター株式会社), 10. 6月, 1994 (10.06.94) & EP, 595268, A2	1, 3
Y		2, 4-6

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

## \* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&amp;」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

08.06.98

国際調査報告の発送日

16.06.98

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)

郵便番号100

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

小松 正

5D

7736

電話番号 03-3581-1101 内線 3551